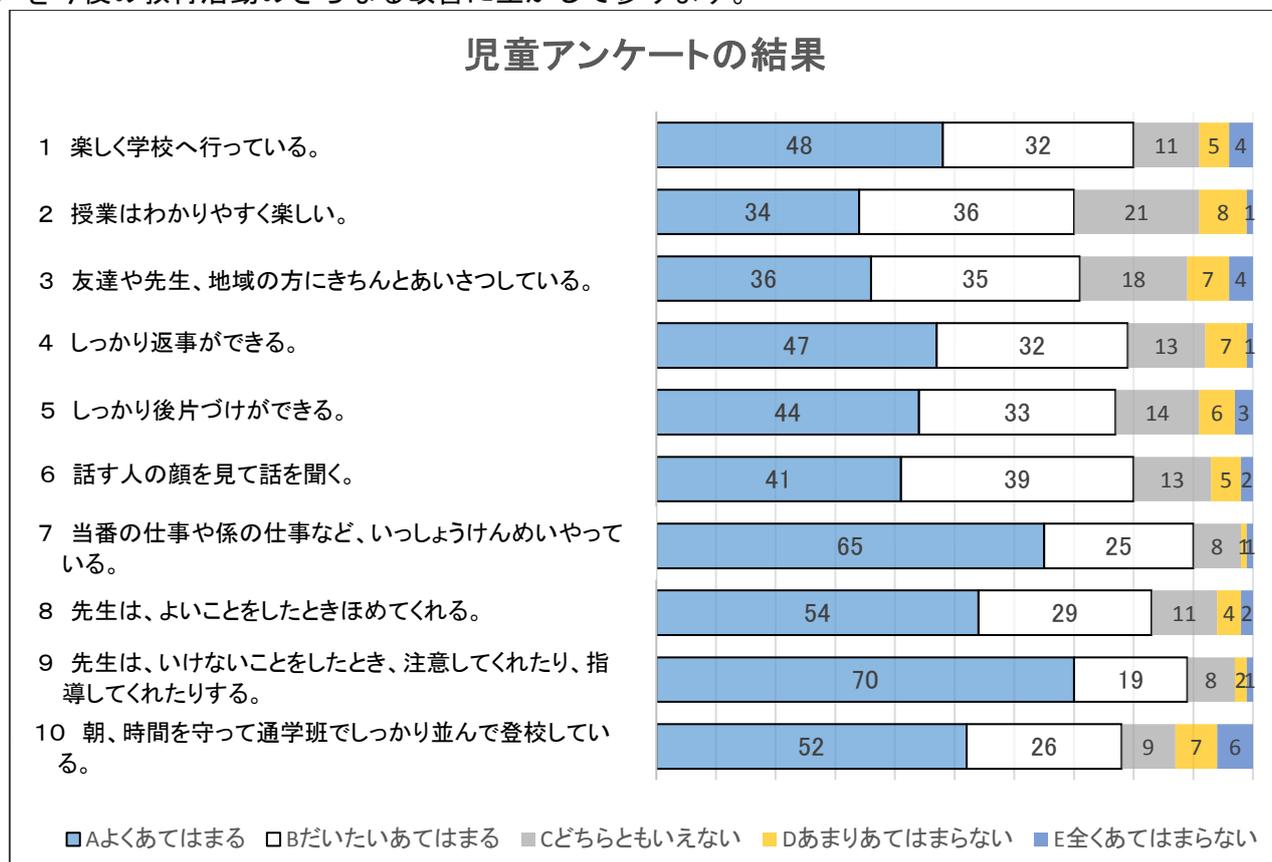


平成30年度「学校評価アンケート」の結果について

1月に、平成30年度「学校評価アンケート」を実施いたしました。保護者の皆様には、ご協力いただきありがとうございます。集計できましたので、結果を報告させていただくとともに、皆様の声を今後の教育活動のさらなる改善に生かして参ります。

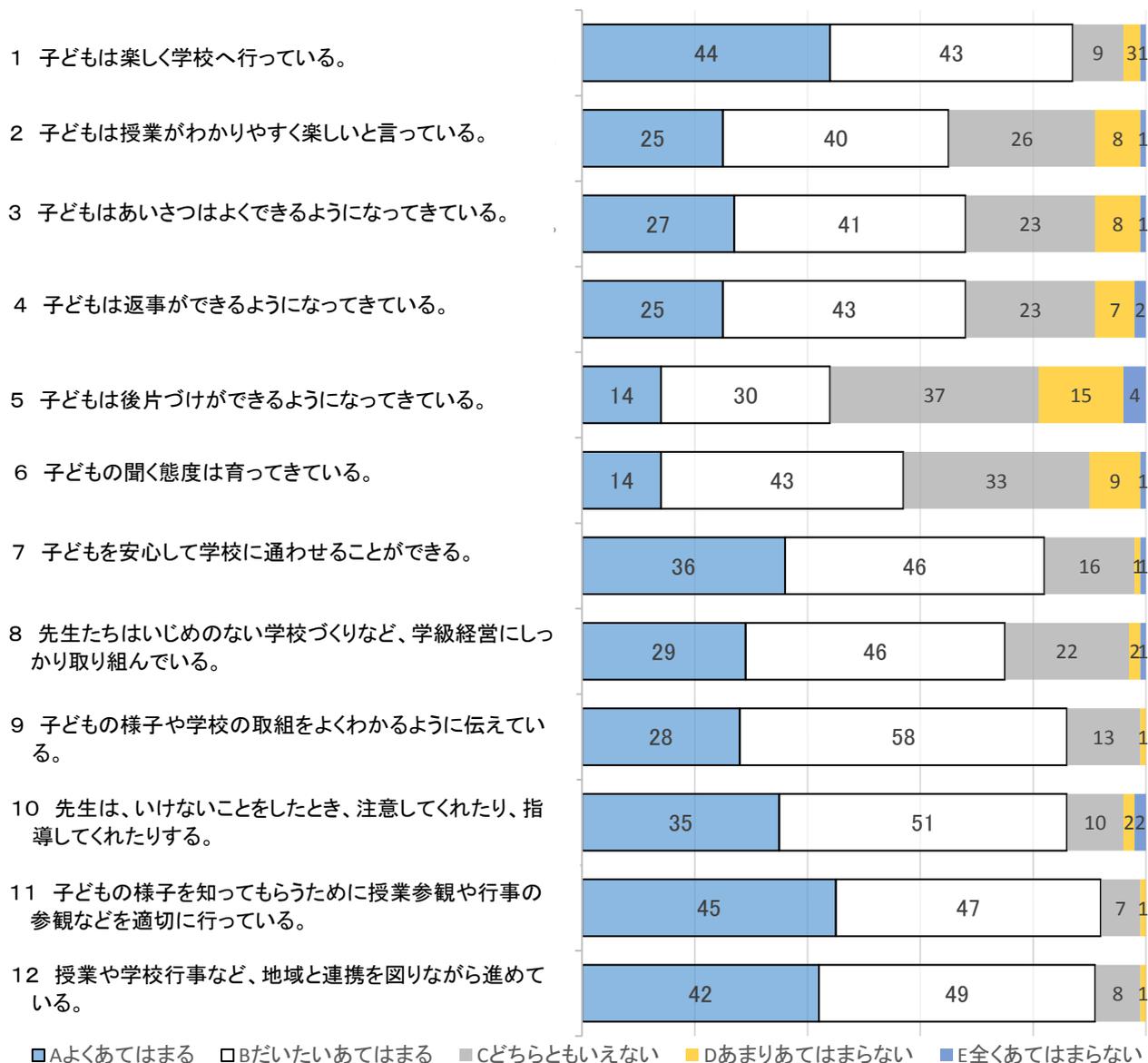


児童の集計結果を見ると、全ての項目で「あてはまる」(「よくあてはまる」と「だいたいあてはまる」と回答した数値の合計)と7割以上の児童が肯定的な回答をしています。

「先生は、よいことをしたときほめてくれる」では83%の児童が、「先生は、いけないことをしたとき、注意し、指導してくれる」では89%の児童が、「あてはまる」と回答しています。子どものよいところに気づき、認め、ほめる指導は児童の自己肯定感を育て、自ら考え行動する子の育成にもつながると考えています。また、児童がいけないことをしたときに、教師が毅然とした態度で指導することにより秩序ある楽しい学校をつくることができると考えています。「楽しく学校に行っている」は80%でしたが、少しでも多くの児童が「学校は楽しい」と感じることにできるように努めて参ります。

「授業がわかりやすく楽しい」では70%の児童が「あてはまる」と回答し、昨年度より10%程低下しました。「主体的に学ぶ」というねらいのもと授業を進めたことで、児童にとって戸惑う場面が増えたのかもしれませんが。来年度は、この点も踏まえて授業法の工夫をしていきたいと考えております。

保護者アンケートの結果



保護者の集計結果を見ると、「楽しく学校へ行っている」「安心して学校へ通わせることができる」について「あてはまる」との回答は87%と82%でした。また、「あいさつ」や「返事」ができるようになってきているでは、「あてはまる」との回答はいずれも68%でした。児童が楽しく安心して学校生活を過ごし、明るくあいさつや返事ができる学校づくりに努めていきます。

「先生たちはいじめのない学校づくりなど、学級経営にしっかり取り組んでいる」については、「あてはまる」との回答が75%でした。今後も教育相談やアンケート調査により児童の実態把握に努め、いじめの早期発見、解決及び解決後の見守りに努めて参ります。

「授業参観や行事の参観などを適切に行っている」、「授業や学校行事など地域と連携を図りながら進めている」「子どもの様子や学校の取組をよくわかるように伝えている」について「あてはまる」との回答は92%と91%と86%でした。今後も「学校－家庭－地域」が強く連携して取り組めるように努力し、児童が健全に成長できるよう保護者や地域の皆様の声にしっかりと耳を傾け、学校運営に生かしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。